

仙台第三高等学校

校訓 心身の健康 真・善・美の追求 愛と知の稔り



1 基本データ

創立：昭和38年
課程・学科：全日制課程・普通科，理数科
生徒数：958名
所在地：〒983-0824
仙台市宮城野区鶴ヶ谷 1-19
TEL：022-251-1246
FAX：022-251-1247

ホームページアドレス：
<https://sensas.myswan.ed.jp>
電子メールアドレス：
sensas@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
仙台市営バス：鶴ヶ谷七丁目ゆき 鶴ヶ谷三丁目三高前下車 徒歩1分
東北本線：東仙台駅下車 徒歩20分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

TEAM 仙台三高

仙台三高は、1つのチームとして互いに励まし合い頑張る集団です。

三高旋風を巻き起こせ！！

仙台三高生は、常に声をかけあって高いレベルを目指します。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

昭和38年に全日制普通科男子校として開校し、昭和43年には県内初の理数科が設置され、さらに平成21年に男女共学となりました。文部科学省より、平成22年度にSSH指定校に指定され、先進的な授業の研究と実践に取り組み、全校体制で探究活動に取り組んでおります。令和4年度からは第3期のSSH指定を受け、周辺地域を対象にした探究活動を進めております。

施設は、400人収容可能の大講義室・学習室・生徒ラウンジ・職員室前の学習指導コーナー・多目的教室・選択教室等を備えた校舎の他、体育館、武道館、弓道場、フェンシング場、卓球場、部室棟、硬式野球場、テニスコート、サッカー場、400mトラック、ハンドボールコート、ラグビー場(第2グラウンド)があり、充実した教育環境を備えています。

(2) 教育方針

建学の精神である「心身の健康」、「真・善・美の追求」、「愛と知の稔り」に則り、次の教育目標を立てています。

- ①仙台三高は、多様な人々と協働する寛容な心を持ち、社会の変化にしなやかに対応する、逞しく豊かな人間性を育みます。
- ②仙台三高は、人類が積み上げた英知に学び、真理の追求を通して知性と感性を磨き、事象を深く探究する態度を養います。
- ③仙台三高は、博愛の精神と創造する知を育む人づくりを通して、よりよき未来の創出に貢献します。

また、「仙台三高の教育活動で身に付ける6個の力」の育成を目指します。

- 1自己管理力 心身の健康を維持するために、健全な生活習慣を身に付け、様々な壁を柔軟に乗り越えるしなやかさを持つ。
- 2信頼構築力 相手の立場を思いやり、尊重し、互いに信頼関係を築くことができる。

3自己研鑽力 人類が築き上げてきた真理を重んじ、それを教養として身に付けることを通して、自らの資質・能力を高めようとする。

4課題突破力 困難な課題に立ち向かい、解決するために、個人の資質を高め、チーム一丸となる実行力を持つ。

5未来デザイン力 未知なるものに立ち向かうために、自己の可能性や周囲の可能性を信じ、能動的に知性を高め行動していく。

6社会牽引力 他者理解・思考力など総合的な判断力をもって、集団を牽引し、社会貢献し、共生して生きていく。

(3) 教育課程の特色

大学へ進学するための十分な基礎学力と応用力を育成します。

普通科は2年生から進路希望に応じて文系と理系の2つの類型に分かれます。文系クラスは国語・地歴公民・英語に、理系クラスは数学・理科・英語に重点を置いて学習をします。令和4年度入学生からはイノベーション探究として、探究活動をより発展させていきます。

理数科は大学や研究機関との連携による様々な活動などが行われており、高度で奥の深い学習ができます。課題研究では、様々な場面でポスター発表や口頭発表が行われます。さらにその成果は姉妹校である国立台湾師範大学附属高級中学において、全員が英語で発表するとともに、優秀な研究は各種学会で発表を行うことができます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事として、4月に新入生成援歌唱指導、5月に生徒総会、三高探究の日、6月に芸術鑑賞、7月に前期体育大会、南三陸フィールドワーク、8月につくば研修、白神フィールドワーク、9月に三高祭、10月に栗駒フィールドワーク、校外研修(1年生)、後期体育大会、11月にイノベーションフェスタ、12月に修学旅行(2年生)、生徒総会などがあります。

生徒会は、代議員会、執行部、監査委員会、会計がそれぞれの権限を持ちながら協力し合って活動しています。生徒会行事はこの生徒会役員を中心に、生徒の手によって行われます。

部活動は、活発に行われています。17の運動部と14の文化部があります。文武の両立を図るため19時完全下校となっていますが、運動部・文化部とも短い時間の中で内容の濃い練習を行っています。令和6年度は、弓道部、放送部、男子テニス部が全国大会に出場し、陸上競技部、ソフト

テニス部、剣道部、水泳部、吹奏楽部、将棋部が県大会で優秀な成績を収め、東北大会へ出場しています。また自然科学部が世界大会に出場し、研究発表で優秀な成績を収め日本内外から高い評価を受けています。他の運動部、文化部も県大会レベルで多くの部が上位入賞を果たしています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
国公立大学	195	211	203
国公立短大	0	0	0
私立大学	76	70	59
私立短大	0	0	0
国立大学校	0	0	1
専各学校	3	0	2
就職	0	0	0
その他	39	35	51
卒業生計	313	316	316

主な進路先(令和7年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

東北大学(36)、宮城教育大学(14)、北海道大学(4)、北海道教育大学(2)、帯広畜産大学、室蘭工業大学、弘前大学(2)、岩手大学(11)、秋田大学(2)、山形大学(23)、福島大学(3)、筑波大学、茨城大学(2)、宇都宮大学(7)、埼玉大学(13)、千葉大学(3)、電気通信大学、東京海洋大学、東京学芸大学(6)、東京科学大学、東京農工大学(4)、一橋大学(3)、横浜国立大学(2)、新潟大学(14)、金沢大学(9)、静岡大学(3)、信州大学(5)、愛知教育大学、鹿児島大学、宮城大学(4)、高崎経済大学(2)、群馬県立女子大学、東京都立大学(4)、横浜国立大学(4)、福井県立大学

<私立大学>

東北学院大学(6)、東北医科薬科大学(10)、東北工業大学(2)、東北福祉大学、青山学院大学(4)、麻布大学、神奈川大学(2)、関西学院大学、北里大学(2)、慶應義塾大学、国士館大学、芝浦工業大学(2)、上智大学、成蹊大学(2)、中央大学(3)、東京音楽大学、東京工科大学、東京都市大学、東京農業大学、東京理科大学(2)、東洋大学、獨協大学(2)、法政大学(7)、武蔵野美術大学、明治大学(8)、立教大学(2)、立命館大学(2)、龍谷大学、早稲田大学(6)、(台湾)国立精華大学

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

文武不岐の仙台三高！ 県総体で大活躍！！

テニス部、ソフトテニス部、フェンシング部がインターハイ出場をはじめ多くの部が東北大会に、文化部では放送部が全国大会へ！
(令和6年6月の学校だよりから)

テニス部 石川楓 (3年 広瀬中)

私は大分県で開催されるインターハイテニス競技にシングルスとダブルスで出場します。今年元旦の能登半島地震に被災され、未だ多くの方々が困難な生活を強いられている中で、満身に競技へと打ち込むことのできる現状に感謝して一球一球を大切に戦ってきます。私は大学でも競技を続けますが、高校テニスの集大成となる今大会で目標の全国ベスト4を達成できるように頑張ります。

ソフトテニス部 大概寛介 (3年 南中山中)

これまで目標にしていたインターハイに出場することになりました。出場することが出来るのも、家族、友人、先生方の支えがあったのもです。インターハイでは、これまで支えてくださった全ての方々への感謝や11年間のソフトテニスへの思いを込めて、悔いのないように宮城県代表としての誇りをもってプレーしたいです。応援よろしくをお願いします。

フェンシング部 藤田万結 (3年 東向陽台中)

女子初の県総体団体優勝。有り難いことに私達は家族や部員、顧問の先生方をはじめ、あらゆる点において恵まれた環境で練習に励んできました。チームの強みは、必死に磨き上げた実力だけでなく、ここぞというときの集中力、そして持ち前の明るい雰囲気です。東北大会で得た学びを確実に活かし、パワーアップしたチームで一丸となり、気持ちを強く持って挑んできます。

放送部 早川幸希 (3年 仙台二中)

私達放送部は第71回NHK杯全国高校放送コンテストに参加します。番組では、創作ラジオドラマ部門、ラジオドキュメント部門、創作テレビドラマ部門に出場し、個人ではアナウンス部門1名、朗読部門1名の2名が出場します。「伝える放送」を胸に、宮城県代表として全国に自分達の放送を届けます。応援よろしくをお願いします。

(2) 仙台三高の学校行事

三高探究の日 ～研究成果を堂々と発表～

本校の探究活動の成果を発表する「三高探究の日」(探究活動成果発表会)が開催されました。第28回東北森林科学会高校生森林研究奨励賞を受賞した理数科の探究班、普通科代表の探究班、日本藻類学会第48回大会で優秀賞を受賞した自然科学部生物班の口頭発表が行われました。東北大学高等大学院機構の安藤晃先生、国立研究開発法人産業技術総合研究所の富永淳二先生をはじめとする20名の来賓の方々、一般でご参加いただいた先生方からご指導、ご助言をいただき、非常に実りある研究発表となりました。



木下 倫那 さん (3年: 加茂中出身)

今回の口頭発表では、かなり理想に近い話し方ができたと思っています。10分間という限られた時間の中で、実験や考察を理解するために必要な知識や、何を考えて実験を組み立てたか、その結果何が得られてそこから何が考えられるか、という内容を、ミカヅキモや生物の専門的な知識がなくても、初めて発表を聞いた人でも理解できるくらい丁寧に説明することが難しく感じました。部活動での研究について全校生徒の前で話したことは、私にとって非常に楽しく貴重な経験でした。

三高スポーツフェスティバル

仙台三高の体育祭は、前期の球技大会、後期に陸上競技で開催します。思い思いのクラスTシャツを着用し、クラスや学年の絆が深まる行事です。令和6年度は3年4組が年間総合優勝でした。



三高の夏！ 科学を体験・体感！！

8月、三高生は学校を飛び出し、科学の「現場」でフィールドワークを実施します。南三陸FW、つくば研修、白神山地研修・・・体験活動や研究機関見学を通して、理数系領域の知見を深めます。科学に対するさらなる意欲を得られる、刺激的な経験です。



多彩な学校間交流～海外研修

仙台三高は、国内外多くの学校と交流授業を行っています。2年生の修学旅行では、理数科は台湾、普通科はクラスごとに関西の各校と交流しています。また京都の堀川高校や台湾台中の明道中学など、相互交流の形で多くの学校が来校し、交流授業を行っています。さらに3月には海外研修として、希望者によるポストン研修や台中研修を行っています。



三高祭 ～生命を燃やせ！～

昨年度の文化祭のテーマは「燦煌祭 ～生命を燃やせ～」。文化祭実行委員会を中心に、熱意溢れる生徒たちの創意工夫によって、温かく活気のある三高祭を創ることができました。中夜祭では、天候不良のため花火の打ち上げは延期になりましたが、三高伝統の「龍神ストーム」が5年ぶりに復活！火は灯しませんでした。3年生が大きな円陣を組み、凱旋の歌を歌いました。三高生の魂はコロナ禍を乗り越えて引き継がれていることを感じた、感動のストームでした。令和7年度は8月29日と30日(一般公開は30日)に開催です。

4 在校生(生徒会)からのメッセージ

○生徒会長 今城 晴太 さん(鶴ヶ谷中 サッカー部)より

『仙台三高は高いレベルの文武両道が行われている学校であり、日々勉強と部活動に真摯に向き合っています。部活動では運動部、文化部問わず全国大会や東北大会などより高いレベルの大会で数々の輝かしい成績を納め、勉強面では先生方の手厚いサポートの元に主体的な学習に務め、多くの先輩方が難関大に進学しています。』

さらにSSH指定校として、理数科の最先端の技術や知識に加え、普通科の探究活動の社会貢献など、自分の興味に合わせ活動することができます。他にも台湾交流やポストン研修などグローバルな活動に参加出来る機会もあります。学業と部活動の両方を両立させたい方に仙台三高はうってつけの学校です。切磋琢磨し合える素敵な仲間たちが皆さんと仙台三高で学べる日を楽しみにしています。